

# 平成27年度 事業報告書

# I 事業報告

## 1 事業概要

平成27年度の日本経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調がみられたが、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の経済の減速やマイナス金利導入などの影響により、先行きには慎重な見方が強まった。

埼玉県内の景気動向もこれらの影響を受け、緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、県内中小企業の先行きには不透明感がみられた。

このような中、当社は、今後の成長が期待される産業の振興や、企業の国内・海外での販路開拓支援など、中小企業の発展と県内産業全体の活性化に資する様々な事業の展開に努めてきた。

平成27年度に実施した主な取組の概要は以下のとおりである。

### (1) 企業支援

#### ① 経営支援

自社の現状分析や課題の整理、業績や経営資源の向上など、県内中小企業が抱える様々な課題に対応するため、アドバイス並びに情報提供を行ったほか、専門性が高い課題の解決を支援するため専門家派遣を実施した。

#### ② サービス産業の振興

今後成長が期待される介護・福祉関連分野に関してセミナーや交流会等を通じて情報提供を実施するとともに、コーディネーターを中心に支援先企業へのアドバイス、専門家派遣、資金調達相談などを行い、サービス産業の振興を支援した。

### (2) 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者を対象とした相談業務や、各ステージに合わせた創業セミナーを開催するとともに、ベンチャー企業の成長を促進するためのビジネスマッチングを支援した。また、国の補正予算により創設された創業補助金の地域事務局を運営した。

### (3) 販路開拓支援

#### ① 取引振興

技術力の高い企業と大手企業の商談会や広域的な商談会、県内各地域での商談会など幅広く開催するとともに、職員等が発注企業へ巡回訪問して新規発注案件を発掘し、受注企業とのマッチングを図った。

#### ② 海外展開支援

県内中小企業の海外市場への進出を支援するため、実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談や様々なセミナー、情報交換会を実施したほか、海外展示会において海外企業との商談をセッティングするなど県内中小企業の海外展開を支援した。

### (4) 新産業振興

#### ① 先端産業支援

「医療イノベーション」、「新エネルギー（次世代住宅）」、「ロボット」などの先端産業に取り組む企業を支援するための総合相談窓口を開設するとともに、各分野のプロジェクト等を実施することで実用化・製品化開発を支援した。

#### ② 産学連携支援

県内中小企業やベンチャー企業の研究開発と大学や研究機関等の研究分野をマッチングさせるため、相談窓口を開設するとともに、競争的研究資金の獲得を支援するなど、産学連携による研究開発を総合的に支援した。

#### ③ 知的財産支援

県内中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進するため、ワンストップで知的財産に関する相談業務に対応するとともに、弁理士等の専門家を企業に派遣し、個別課題の解決を支援したほか、知的財産に関する啓発や知識の向上を目的としたセミナーなどを実施した。

④ 次世代自動車産業支援

県内の自動車関連企業に対し、次世代自動車の技術研究や既存自動車の高効率化、軽量化に向けた技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路拡大などを総合的に支援した。

(5) 人材育成・情報支援

階層別研修や実務研修などを開催し、県内中小企業の人材育成を支援するとともに、情報誌やセミナーなどを通じて企業経営に役立つ情報を幅広く提供した。また、ITコンサルティング等を実施して中小企業におけるITの有効活用を支援・促進した。

## 2 評議員会開催状況

日付	事項	摘要
平成27年 4月 1日	第1回評議員会	評議員及び理事の選任等
平成27年 6月16日	第2回評議員会	平成26年度事業報告及び決算 並びに評議員及び監事の選任

## 3 理事会等開催状況

日付	事項	摘要
平成27年 4月 1日	第1回理事会	理事長及び専務理事の選定
平成27年 5月19日	監事監査	平成26年度事業報告及び決算報告の監査
平成27年 5月25日	第2回理事会	平成26年度事業報告及び決算等
平成27年10月20日	第3回理事会	平成27年度事業計画の一部変更及び収支予算の補正 並びに平成27年度事業中間報告等
平成28年 3月17日	第4回理事会	平成28年度事業計画及び予算 並びに平成28年度事業費の借入限度額等

## 4 評議員の異動状況

就任

役職名	氏名	就任年月日	備考
評議員	立川吉朗	平成27年4月 1日	
評議員	上條正仁	平成27年6月16日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 年 月 日	備 考
評 議 員	山 中 融	平成 2 7 年 4 月 1 日	
評 議 員	西 村 和 義	平成 2 7 年 6 月 1 6 日	

5 役員の変動状況

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
理 事 長	織 田 秀 明	平成 2 7 年 4 月 1 日	
専務理事	岩 田 靖 人	平成 2 7 年 4 月 1 日	
監 事	高 島 誉 章	平成 2 7 年 6 月 1 6 日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 年 月 日	備 考
理 事 長	秋 山 秀 次 郎	平成 2 7 年 4 月 1 日	
専務理事	小 川 良 和	平成 2 7 年 4 月 1 日	
監 事	藤 田 則 春	平成 2 7 年 6 月 1 6 日	

## Ⅱ 事業実施状況

### 1 企業支援

#### (1) 経営支援

##### ① 経営相談の実施

職員等による窓口相談、弁護士による法律相談を実施した。

相談件数	主な相談内容	
2, 278件	経営全般（含・その他）	1, 244件
	マーケティング	369件
	I S O	260件
	取引適正化	179件
	技術	84件
	経営革新計画	75件
	資金	67件

##### ② 支援専門家の派遣

ア 専門家派遣を行うため、支援専門家の登録を実施した。

支援専門家の登録者数	内 訳	
620人 (平成28年3月31日現在)	中小企業診断士	278人
	企業等OB人材	176人
	一級建築士・販売士・弁理士・弁護士	54人
	マネジメントシステム専門家	53人
	I T関係専門家	52人
	技術士	50人
	公認会計士・税理士	33人
	社会保険労務士	32人

\*複数資格保有者がいるため、登録者数と内訳の合計は一致しない。

イ 経営、技術、情報などに関する課題解決のため、支援専門家を活用して診断助言を実施した。

(ア) プロジェクトマネージャー、サブマネージャーの配置 4名

(イ) 支援企業数、派遣日数等

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
45社	208日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QC手法を活用した製造現場の改善活動支援</li> <li>・事務工数の低減に向けた改善活動支援</li> <li>・製造現場の標準化を図るための活動支援</li> </ul> など

ウ 経済産業省関東経済産業局で実施している「地域プラットフォーム事業ミラサポ」の専門家派遣を活用して、経営革新に取り組む中小企業に対して診断助言を実施した。

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
18社	35日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消を推進する食品の開発</li> <li>・現場改善の契機づくりに向けた社員教育</li> <li>・就業規則の見直しに関する基礎的事項習得</li> </ul> など

### ③ 事業継続計画（BCP）導入支援

地震や風水害などの自然災害、火災、IT・ネットワーク障害、新型インフルエンザによる従業員の集団感染などに遭遇したとき、自社の重要業務を中断せず、また中断しても早期復旧を図るため緊急時の対応方法・手段を事前に取り決めておく、事業継続計画（BCP）の普及・啓発及び策定支援を実施した。

セミナーの開催

開催日	テーマ	講師	参加者数
8月25日	BCP(事業継続計画)セミナー(初級)	黄野 吉博 氏	36人
10月28日	BCP(事業継続計画)セミナー(初級)〈追加開催〉	黄野 吉博 氏	19人
2月 9日	BCP(事業継続計画)セミナー(中級)	黄野 吉博 氏	14人

### ④ 若手経営者支援【フォース21】

県内中小企業の後継者・若手経営者の交流クラブ「フォース21」を運営し、経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等について支援するため、定例会並びにテーマ別研究会を開催した。(平成27年度末現在9グループ、108名)

内 容	実 績
◇定例会の開催	4回
◇テーマ別研究会の開催	
精神修行研究会	1回
ボイス（声みがき）研究会	2回
デジタルマーケティング研究会	1回
◇グループ別例会	50回

### ⑤ マネジメントシステム導入支援

ア マネジメントシステム導入支援

ISO等のマネジメントシステムを構築しようとする中小企業へのコンサルティングを実施した。

事業名	実 績	概 要
マネジメントシステム導入支援	6社	派遣回数 85回
		<支援先内訳>
		ISO9001 4社
		BCP(中小企業庁版) 2社

イ ISOフォローアップ支援

ISO認証取得企業へのフォローアップを実施した。

事業名	実 績	概 要
ISOフォローアップ支援	9社	派遣回数 65回
		<支援先内訳>
		ISO9001 5社
		ISO14001 1社
		ISO9001とISO14001の統合 3社

ウ 環境法規制関連情報提供

公社会員を対象に、環境法規制の関連情報を提供した。

利用会員数
83社

⑥ 経営診断等事業

公所在籍の中小企業診断士を活用し、川口市、戸田市から中小企業の経営診断等を受託した。

事業名	実績	概要
経営診断	2件	製造業、サービス業
特別相談会	2日間	相談件数 1件
創業計画診断	1件	卸売業1社
地域貢献事業者診断	8件	企業4社、4団体（組合、商店会等）
起業個別相談会	12日	相談件数 15件

⑦ 事業承継支援

事業承継の重要性を広く知らしめるとともに、事業承継相談に対応するため、中小企業基盤整備機構との共催により事業承継セミナーを開催した。

開催日	テーマ	講師	参加者数
2月28日	成功事例から学ぶ事業承継ポイント	富永 治 氏（独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 事業承継コーディネーター）	10人

⑧ よろず支援拠点事業

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施した。

ア コーディネーター、サブコーディネーターの配置	12名
イ よろず支援拠点来訪相談対応件数	2, 185件
	【参考】相談件数総合計7, 479件
ウ よろず支援拠点課題解決件数	1, 203件

⑨ 中小企業高度人材支援事業（プロフェッショナル人材戦略拠点）

県内中小企業に「攻めの経営」の意欲喚起を図り、新たな事業展開を担う高度な「プロフェッショナル人材」を活用した経営革新の実現を促進し、県内経済をけん引する中小企業への成長を支援した。

ア 相談件数	70件
イ マッチング成約件数	1件

(2) サービス産業の振興

① サービス産業の成長支援

県民生活の質の向上に資する「介護・福祉・健康」「子育て」「食」の分野において、新サービス提供しようとする事業者を公社が支援先として選定し、コーディネーターを中心にアドバイスを行い、発展段階に応じた個別具体的な支援を実施した。

- ア コーディネーターの配置 6名
- イ 支援企業数 21社

## ② セミナー・交流会の開催

埼玉県立大学と連携して、生活サポート産業に関する業界動向の提供、経営力向上等を目的としたセミナー及び交流会を開催した。

開催日	テーマ	講師	参加者数
12月18日	心筋梗塞の予防・治療に役立つ 悪玉 LDL 自動測定装置の開発  企業の新たなヘルスケアの取組 み	埼玉県立大学健康開発学科 講師 久保田 亮 氏  株式会社ネプシス 代表取締役 関 義男 氏	62人

## ③ フードビジネスの展開

県内食品産業の販路開拓や食品ブランドの創出を目指した活動を支援した。

### ア フード・ビジネス研究会の開催

内 容	実 績
研究会の開催	3回
分科会の開催	
販路開拓	2回
商品開発	1回

- イ FOOD EXPO 2015（香港）の出展支援  
商談件数 264件  
成約件数 5件
- ウ バイヤー招へい事業  
商談件数 99件  
成約件数 2件
- エ FOOD EX JAPAN 2016の出展支援  
商談件数 478件  
成約件数 13件

## 2 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者、ベンチャー企業の成長を支援するために「創業・ベンチャー支援センター埼玉」を運営し、利用者の各ステージに合わせた様々な相談業務を行った。

また、創業に必要な知識を体系的に学ぶためのセミナーの開催や、ベンチャー企業の成長を促進するためにビジネスマッチングを図った。

### ① 創業相談支援

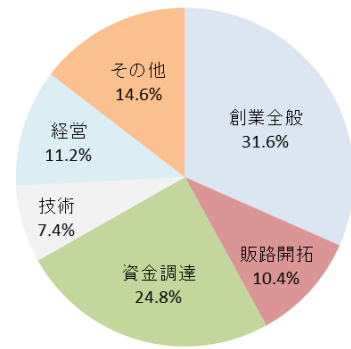
創業前、創業時、創業後の相談者の各ステージごとの課題解決を図るため、経験豊富な開業アドバイザー（6人）などを配置して相談に対応するとともに、より専門的な相談に対しては、司法書士や税理士等の士業団体との連携による専門相談会を実施した。



ア 相談件数

実 績	
相談件数	2,162件 (うち 専門相談 35件 女性創業相談 1,008件)

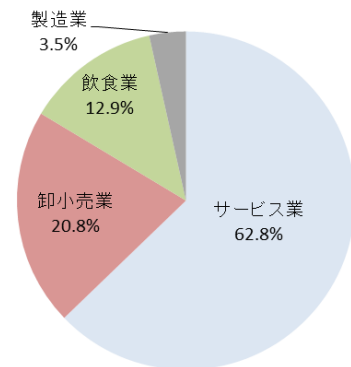
図1：相談内容区分



イ 公的融資申請支援件数

内 容	申請受付件数
埼玉県制度資金	54件
日本政策金融公庫	22件

図2：創業者の業種区分



ウ 創業件数

創業件数	202件
------	------

② セミナー等の開催

創業までの心構えから創業後のマーケティング等まで、創業の各ステージに合わせたセミナー等を開催した。

内 容	開 催 日	参加者数	備 考
創業実務FAQセミナー	① 4月 4日	24人	
	② 7月 11日	15人	
	③ 10月 3日	23人	
	④ 1月 23日	20人	
創業準備セミナー	4月 22日	36人	
創業準備ワークショップ	① 5月 30日	23人	
	② 8月 8日	17人	
	③ 9月 26日	21人	
	④ 11月 21日	25人	
	⑤ 1月 16日	35人	
	⑥ 3月 5日	23人	
女性創業ワークショップ	① 6月 13日	13人	
	② 11月 7日	8人	
足固め+事業展開実践ワークショップ	① 7月 25日	22人	
	② 2月 6日	15人	

内 容	開 催 日	参加者数	備 考
創業 (!?) 検討セミナー	7月15日	18人	
会社設立希望者向けセミナー	① 8月 1日 ② 2月20日	22人 30人	
LEGOシリアスプレイで自分の理想像を発見する	9月16日	6人	
ネットショップ立ち上げ・運営セミナー	① 5月23日 ② 12月19日	55人 50人	
集客・販促計画作成セミナー	① 7月10日 ② 12月18日	33人 29人	
商売入門セミナー	① 9月12日 ② 2月13日	21人 14人	
商売入門セミナーDAY①キャリア	3月19日	32人	
商売入門セミナーDAY②リスク	3月19日	31人	
商売入門セミナーDAY③仕組み	3月19日	32人	
地域密着営業のはじめ方セミナー	① 7月 8日 ② 11月25日	41人 27人	
提案書からの「仕事の作り方」セミナー	6月 2日	15人	
事業コンセプト作成・活用セミナー	6月24日	24人	
はじめてのBtoBセミナー	① 4月24日 ② 10月 7日	24人 17人	
ビジネスプランコンテスト活用セミナー	5月27日	8人	
女性のためのプチ起業実践セミナー	① 8月22日 ② 10月 8日 ③ 11月26日 ④ 1月14日	26人 13人 13人 10人	さいたま 川越 春日部 熊谷
女性のための Facebookページ集客セミナー	① 3月23日 ② 3月23日	8人 11人	
計	41回	930人	

### ③ 女性の創業支援

#### ア 女性起業支援施設の運営

「女性起業支援ルームCOCOオフィス」を管理・運営し、アドバイザー（3人）により利用者からの相談に対応するとともに実践的なセミナーを開催した。

- (ア) 利用者数 21名（3月31日現在）
- (イ) 相談件数 106件（女性創業相談を含む）
- (ウ) COCOセミナー等 9回 参加者数 75名
- (エ) COCOオフィスプレゼン大会

開催日	内容	参加者数
3月22日	女性起業家（施設利用者等9人）によるプレゼン発表会及び交流会	22人

#### イ 女性創業支援チームの運営

女性創業支援アドバイザー（3人）などを配置し、女性のビジネスの立ち上げ時から成長期までの創業相談などに対応した。

相談件数 569件（女性創業相談を含む）

#### ウ 女性創業スタートアップセミナー

開催日	参加者数	会場
9月5日～10月3日（5日間）	20人	新都心ビジネス交流プラザ（さいたま市）
10月24日～11月21日（5日間）	15人	ウエスタ川越（川越市）
1月23日～2月20日（5日間）	17人	熊谷市立商工会館（熊谷市）

### ④ ベンチャー成長支援

#### ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業、行政機関等との出会いの場を設け、ビジネスマッチングを図った。

開催日	事業名	支援企業数	来場者数
1月27日	彩の国ベンチャーマーケット	7社	98人

#### イ ベンチャー支援セミナーの開催

独創的なビジネスモデルや経営戦略を実践している起業家や経営者を講師に迎えたセミナーを開催した。

開催日	内 容	参加者数	備 考
6月13日	【ビジネス交流会】 社長にツキを呼ぶ魔法の言葉	100人	共催：NPO法人さいたま起業家協議会
2月9日	【「論語と算盤」塾】 女性経営者が語る「心の経営」とは ～私の人生、七転び九起き～	57人	共催：新都心ビジネス交流プラザ運営協議会

### ⑤ 創業補助金埼玉県事務局運営

国の平成24年度及び平成25年度補正予算により創設された創業補助金の地域事務局を運営した。

平成25年度補正 補助金交付状況

区 分	応募件数	採択件数	交付決定数	交付数
地域創業	300件	101件	100件	79件
第二創業	10件	4件	4件	4件
計	310件	105件	104件	83件

## 3 販路開拓支援

### (1) 取引振興

#### ① 取引情報の収集・提供

厳しい経営環境下にある受注企業の取引機会の拡大を図り、健全な発展を促進するため、積極的な企業巡回訪問による経営支援及びニーズの把握に努めるとともに、発注企業の外注計画や受注企業の設備状況等に関する調査を実施した。また、中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を図った。

ア 受発注企業の登録促進

発注・受注企業の登録状況

(単位：社)

区 分	発注企業	受注企業	合 計
26年度末の登録	1,753	3,268	5,021
27年度中の増減数	新規	37	37
	削除	25	61
27年度末の登録	1,765	3,244	5,009

受発注企業巡回訪問の状況

事業名	実績	概要
受発注企業巡回訪問	528社	アドバイザーによる巡回訪問 252社
		職員による巡回訪問 276社

イ 調査情報提供

取引あっせん・紹介を行うための基礎情報として、主要発注登録企業における外注計画等の

動向を把握するための調査や、受注登録企業における最新の設備・取引状況等の実態を把握する調査を行った。

事業名	実績	概要
新規外注計画調査	2回	発注企業を対象に新規外注計画等を調査 ① 5月15日～29日 調査対象企業991社 回答企業157社（回答率15.8%） うち発注希望あり112社（71.3%） ② 11月1日～20日 調査対象企業979社 回答企業149社（回答率15.2%） うち発注希望あり97社（65.1%）
受注登録企業設備調査	1回	受注登録企業を対象に保有設備等を調査 9月25日～10月9日 調査対象企業1,055社 回答企業486社（回答率46.1%）

ウ 企業情報の発信

インターネットを利用して広域的な受発注取引の促進や新たな取引機会の拡大を図るため、情報発信を希望する企業を公社のホームページに掲載した。

内容	実績	概要
企業情報の発信	842社	公社ホームページに企業情報を掲載

エ 異業種グループ支援

異業種グループの定例会等に参加し、情報提供とともに中小企業のニーズ把握に努めた。

オ かけこみ寺相談事業

下請取引に関する様々な相談に応じた。

相談件数	主な相談内容
210件	代金支払遅延、契約解消 ほか

② 展示商談会の実施

受注企業の取引機会の確保を図るため、発注企業を招いた各種商談会や中小企業の加工技術・製品等を展示し広くPRする「彩の国ビジネスアリーナ2016」を実施した。

また、大手自動車部品メーカーとの商談会を実施するとともに、関東5県合同商談会、9都県市合同商談会を実施して広域的な取引機会の拡大を図った。

ア 商談会の開催等

事業名	実績
広域商談会	関東5県合同商談会 9月1日 東京ビッグサイト 発注企業135社/受注企業266社うち県内58社 商談件数352件 九都県市合同商談会 2月3日 パシフィコ横浜 発注企業90社/受注企業253社うち県内42社 商談件数256件

事業名	実績
	彩の国ビジネスアリーナ2016広域商談会 1月27日、28日 さいたまスーパーアリーナ 発注企業30社/受注企業65社 商談件数238件
大手メーカー商談会	ヴァレオグループ個別商談会 10月28日 参加企業6社 商談件数6件
彩の国ビジネスアリーナ 2016	1月27日、28日 さいたまスーパーアリーナ 出展数845小間(企業、団体、グループ642社) 入場者17,233人
地域別商談会	西部地域ミニ商談会 10月14日 ウェスタ川越 発注企業18社/受注企業30社 商談件数104件 東部地域ビジネスマッチングフェア2016 2月23日 ふれあいキューブ 発注企業10社/受注企業24社 商談件数65件
展示会出展支援	機械要素技術展 6月24日～26日 出展企業8社 名刺交換数1,153件 国際ナノテクノロジー総合展 1月28日～30日 出展企業4社 名刺交換数482件

### ③ 取引あっせん

企業からの取引あっせん依頼への対応、展示商談会の実施等により、149件の取引を成立させた。

あっせん件数及びあっせん結果

(単位：件)

あっせん件数			あっせん結果			
本年度	前年度からの繰越分	合計	成立	不成立	折衝中	合計
2,752	2,384	5,136	149	1,154	3,833	5,136

## (2) 航空機産業参入支援

### ① 航空機関連セミナーの開催

航空機産業への参入を促進するために、技術動向や参入に関するセミナーなどを実施した。

事業名	実績
航空機産業参入支援 セミナー	7月3日 講演 エアラインの航空機部品マネジメント 講師 本多秀明氏 (全日本空輸(株)) 参加者 21社・25名

事業名	実績
	9月3日、4日 富士重工業(株)半田工場及び輸送機工業(株)の視察 参加者 19社・25名
	10月23日 全日本空輸(株)整備センターの視察 参加者 17社・22名
	12月18日 講演 品質管理・安全管理 ～元パイロットが語る ひとつづくり ものづくり～ 講師 戸田 眞一郎 氏 (元自衛隊一等空佐) 参加者 18社・23名
	3月4日 講演 国内外における航空宇宙産業の今後の見通し 講師 伊藤 直彦氏 (日本航空機開発協会) 参加者 14社・17名
	3月17日 講演 日本の航空機産業の現状と展望 講師 伊藤 一宏氏 (日本航空宇宙工業会) 参加者 65社・80名

## ② 航空機関連展示会の出展支援

航空機産業への参入を促進するために、販路開拓につながる国内外の展示会出展支援を実施した。

展示会名	実績
パリエアーショー	6月13日～20日 出展企業 3社
彩の国ビジネスアリーナ 2016	1月27日～28日 出展企業 7社
シンガポールエアショー	2月14日～20日 出展企業 1社

## ③ 航空機関連資格取得支援

航空機部品を製造する際に必要な国際的な認証資格 (JISQ9100、Nadcap) の所得を促進した。

JISQ9100取得助成金交付 3社

JISQ9100取得助成金指定 2社

#### ④ マッチング支援

航空機産業への参入を促進するために、販路開拓につながる航空機メーカー等とのマッチングを実施した。

マッチング名	実 績
東京エアロスペースシンポジウム2015併催イベント マッチング会	10月15日 仏クラスターマッチング会 参加企業 6社
	10月16日 航空機関連国内企業マッチング会 参加企業 2社

### (3) 海外展開支援

#### ① 中小企業国際化支援

ア 海外事業相談 相談実績443件

実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談（毎週 火・水・金曜日）、埼玉県上海ビジネスサポートセンターなど埼玉県が海外に設置する支援拠点への取次相談、職員等による相談を活用して、企業の海外展開に関する様々な相談に応じた。

イ セミナー・交流会・研究会等の実施

グローバル市場で勝てる中小企業を育成するため、埼玉国際ビジネスサポートセンターが長年培ってきたネットワークを活かし、交流会や情報交換会等を通じて、中小企業間及び中小企業と支援機関との連携を強化し、中小企業の国際競争力の向上を図った。

(ア) 国際ビジネスセミナー 開催実績16回 参加者合計699人

開催期日	セミナー名	参加者数
5月28日	EU経済セミナー	43
6月1日	アセアン経済セミナー	66
6月23日	インドネシア勉強会	19
6月26日	国際ビジネスセミナー【連続講座：全3回】 「強み発掘・発信力向上講座」第1弾	6
7月9日		6
7月30日		17
8月31日	インドネシア経済セミナー	50
9月15日	米国医療機器参入セミナー	32
9月29日	中国経済セミナー	54
10月16日	海外販路開拓ビジネスモデル構築講座 【連続講座：全3回】	8
11月13日		5
12月18日		10
12月2日	米国経済セミナー	27



開催期日	セミナー名	参加者数
12月4日	環太平洋パートナーシップ（TPP）協定活用セミナー	82
1月22日	「世界・アジア・日本経済の現状と今後の見通し」セミナー	50
2月5日	メキシコ経済セミナー	55
2月16日	第2回 環太平洋パートナーシップ（TPP）協定活用セミナー	58
2月16日	海外展開支援セミナー 「海外人材の確保～外国人技能実習制度の活用～」	40
2月25日 3月4日	国際ビジネスセミナー【連続講座：全2回】 「強み発掘・発信力向上講座」第2弾	6 10
3月9日	知財セミナー 「海外におけるライセンスビジネスの留意点」	55

(イ) 企業間交流会・情報交換会の開催 開催実績5回 参加者合計153人

開催期日	内 容	参加者数
5月27日	第1回 中国事情勉強会	20
9月4日	第2回 中国事情勉強会	18
11月16日	第3回 中国事情勉強会	28
11月27日	エクセレントカンパニー交流会	67
2月26日	第4回 中国事情勉強会	20

(ウ) 国際情勢勉強会（愛知淑徳大学 真田教授を囲む会） 開催実績12回 参加者483人

(エ) 中小企業海外展開研究会 開催実績13回 参加者合計214人

海外展開を希望する企業による業種や対象地域ごとの研究会を設置し、実践的な勉強会や情報交換を実施した。

研究会名	開催回数	延べ参加者数
医療機器グローバル研究会	7回	127人
アジアビジネス研究会	6回	87人

ウ 海外での現地支援事業

埼玉県上海ビジネスサポートセンター、埼玉県ベトナムサポートデスク、埼玉県タイサポートデスクと連携し、中国・アセアン市場進出等をサポートした。

概 要	取次案件	主な取次内容
上海ビジネスサポートセンターとの連携	27件	取引先発掘・紹介10件 貿易投資相談5件 情報提供5件 など

概 要	取次案件	主な取次内容
ベトナムサポートデスクとの連携	46件	情報提供9件 取引先紹介22件 現地活動支援7件 など
タイサポートデスクとの連携	27件	情報提供21件 取引先紹介4件 貿易投資相談2件

## ② 海外展示商談会出展支援

今後の経済成長が見込まれる中国・アセアン等新興国においてビジネス展開できるよう支援するとともに、先進国アメリカの成長産業分野への販路開拓を支援した。

### ア 展示商談会出展支援

#### (ア) 北米医療機器商談会（DMDカンファレンス）支援

期 間：4月13日～4月19日

場 所：アメリカ合衆国・ミネソタ州ミネアポリス市

参加企業：2社、商談件数：7件

#### (イ) 北米医療機器商談会（ミネアポリス商談会）支援

期 間：8月30日～9月6日

場 所：アメリカ合衆国・ミネソタ州ミネアポリス市

参加企業：6社、商談件数：66件

#### (ウ) 北米医療機器展示会（MD&Mウエスト2016）出展支援

期 間：2月7日～2月17日

場 所：アメリカ合衆国・カリフォルニア州アナハイム市、ミネソタ州ミネアポリス市

参加企業：7社、商談件数：322件

#### (エ) ベトナム・インドネシア技術交流会（ホーチミン・ハノイ・ジャカルタ）支援

期 間：10月20日～10月31日

場 所：ホーチミン・ハノイ・ジャカルタ

参加企業：18社、商談件数：151件

#### (オ) 総合機械展示会（マニュファクチャリングインドネシア2015）出展支援

期 間：11月30日～12月6日

場 所：インドネシア・ジャカルタ市

参加企業：6社、商談件数：241件

#### (カ) タイ・ティアワンメーカーとの商談支援

期 間：1月31日～2月6日

場 所：タイ・バンコク都周辺ティアワンメーカー

参加企業：14社、商談件数：40件

(キ) 中国ローカル自動車メーカー（吉利汽車）との商談支援

期 間：12月15日～12月18日

場 所：中国・杭州市

参加企業：6社、商談件数：73件

(ク) 食品展示会（FOOD EXPO 2015）出展支援

期 間：8月11日～8月16日

場 所：香港

参加企業：11社、商談件数：264件

(ケ) 国際航空ショー（パリエアショー）出展支援

期 間：6月13日～6月20日

場 所：フランス・パリ ルブルジェ空港

参加企業：3社、商談件数：81件

(コ) 国際航空ショー（シンガポールエアショー）出展支援

期 間：2月14日～2月20日

場 所：シンガポール・Changi Exhibition Centre

参加企業：1社、商談件数：55件

#### イ 海外調査事業

(ア) 航空機産業調査（Mexican Aerospace Fair）

期 間：4月22日～4月27日

場 所：メキシコ・サンタルーシア空港

(イ) 航空機産業調査（航空機市場調査）

期 間：11月9日～11月20日

場 所：アメリカ合衆国・アラバマ州、ワシントン州

参加企業：2社

#### ウ 海外企業との技術交流会

(ア) 彩の国ビジネスアリーナ2016「グローバルビジネスゾーン」設置

期 間：1月27日、28日

開催場所：さいたま市（さいたまスーパーアリーナ）

参加企業：17社、商談件数：231件

(イ) 海外食品バイヤー招へい

期 間：2月3日、4日

場 所：さいたま市（さいたまスーパーアリーナ）ほか

参加企業：41社、商談件数：99件

## 4 新産業振興

### (1) 先端産業支援

先端産業に関する総合相談や開発動向等を紹介する「先端産業支援センター埼玉」を運営するとともに、医療イノベーション、新エネルギー（次世代住宅）、ロボット、ナノカーボンの各分野のプロジェクト等を実施することで、先端産業に取り組む企業を総合的に支援した。

#### ① 先端産業支援センター埼玉の運営

「先端産業支援センター埼玉」にコーディネータ、アドバイザーを配置し、技術指導、企業マッチング、補助金の活用などの総合相談を実施するとともに、「埼玉県先端産業創造プロジェクト」の取組状況や開発動向等を紹介する展示コーナーを運営した。

内 容	実 績
相談件数	1, 294件
展示コーナー見学者数	8, 745人

#### ② 医療イノベーション事業

県内ものづくり企業と医療機器メーカー、病院、大学等との連携による医療現場のニーズに即した新たな医療機器等の開発や医療機器産業への参入を目指す企業を支援した。

##### ア 総合相談の実施

(ア) コーディネータの配置	8名
(イ) 相談件数	587件

##### イ 医療機器開発プロジェクト

(ア) 脱水・熱中症予防対策用検査機器の開発 2社・3大学が参加	4回開催
(イ) LDL自動測定装置の開発 2社・2大学・1研究機関が参加	6回開催
(ウ) 彩の国ビジネスアリーナ2016への出展	

##### ウ 先進医療施設見学会

開 催 日	施設名	参加者数
7月 2日	自治医科大学附属さいたま医療センター	29名
3月 7日	埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター	40名

##### エ 画像診断機器勉強会

開 催 日	テーマ	参加者数
6月16日	画像診断機器及び周辺機器の概要と現状	31名

開催日	テーマ	参加者数
9月8日	画像診断機器及び周辺機器の課題と今後の方向性	39名
12月8日	工場見学会 東芝メディカルシステムズ株式会社	26名
2月26日	画像診断機器の可能性と医療・介護施策の今後の動き	22名

オ 日本内視鏡外科学会総会 医工連携展示

開催日	内容	参加企業数
12月10日 ～12日	日本内視鏡外科学会総会に併せて開催される医工連携展示への出展	8社

カ 大手企業技術ニーズ説明会

開催日	内容	参加者数
1月19日	サンスター株式会社が求める技術ニーズに対する技術提案	40名

キ 医療イノベーション技術交流会

開催日	内容	参加者数
2月17日	・講演（帝人株式会社 近藤史郎氏） ・公社支援事業の取組について ・補助金等の支援策について	93名

③ 次世代住宅参入促進事業

県内中小企業と住宅メーカー、大学等との連携による住宅用創エネ・省エネ製品・技術の研究開発を支援した。

ア 総合相談の実施

(ア) コーディネータの配置	3名
(イ) 相談件数	353件

イ 次世代住宅産業プロジェクト

(ア) 地中熱ヒートポンプシステム技術開発 26社・3大学・2研究機関が参加	12回開催
(イ) 高断熱ガラスフィルム技術開発 16社・2大学・1研究機関が参加	5回開催
(ウ) 木質系断熱材技術開発 23社・3大学・3研究機関が参加	8回開催
(エ) エネルギー・マネジメント・ソリューション（EMS）技術開発 6社・1大学・1研究機関が参加	5回開催

(オ) 成果発表

開催日	内容	参加者数
9月24日	上期成果報告会 ・平成27年度の活動報告 ・各プロジェクトの開発状況の報告 ・国等の支援施策の紹介	104名
11月6日	エネルギー・マネジメント・ソリューション (EMS) 説明会	33名
11月30日	直膨式地中熱ヒートポンプシステム施設見学会	21名
2月18日	下期成果報告会 ・平成27年度の活動報告 ・各プロジェクトの開発状況の報告 ・国等の支援施策の紹介	96名
2月22日	地域面的地中熱ヒートポンプシステム施設見学会	34名

④ ロボットプロジェクト推進事業

成長が見込まれるロボット分野における新たな技術の研究開発や実用化・製品化を支援した。

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータ等の配置 3名  
(イ) 相談件数 46件

イ ロボットプロジェクト

- (ア) 介護施設見守り支援ロボットの研究開発  
5社・2大学が参加 8回開催  
(イ) 彩の国ビジネスアリーナ2016への出展

⑤ ナノカーボンプロジェクト推進事業

今後様々な応用製品が期待されるナノカーボン分野の研究開発等を支援した。

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータ等の配置 1名  
(イ) 相談件数 180件

(2) 産学連携支援

県内中小企業の新製品・新技術開発、新規産業への参入促進、技術競争力の強化を図るため、「産学連携支援センター埼玉」を運営し、中小企業からの産学連携相談、大学・研究機関とのマッチング、競争的資金の獲得など、産学連携に係る総合的支援を実施した。

### ① 産学連携相談等の実施

「産学連携支援センター埼玉」にコーディネータを配置し、県内中小企業からの産学連携相談に応じるとともに、大学・研究機関とのマッチング、共同研究体の形成や競争的資金の獲得などの支援を実施した。

内 容	実 績
産学連携相談件数	1, 0 1 3 件
マッチング支援数	1 2 5 件
産学共同研究取組支援数	2 9 件
競争的資金獲得支援数	2 6 件 (うち獲得件数 1 3 件)

また、中小企業を対象としたセミナーを開催し、補助金等に関する最新の情報提供を実施した。

開 催 日	テーマ	内 容	参加者数
3 月 1 6 日	産学連携支援 セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省による公募型競争的資金の最新情報とポイント</li> <li>・埼玉県による先端産業創造プロジェクト及び公募型競争的資金の最新情報とポイント</li> <li>・補助金活用企業による事例発表</li> </ul>	5 1 名

### ② 産学連携支援ネットワーク事業

県内で産学連携に取り組む機関で構成する埼玉県産学連携支援ネットワーク会議を運営し、情報交換や県内中小企業を対象としたセミナーを実施した。

開 催 日	テーマ	内 容	参加者数
6 月 2 5 日	産学連携支援 ネットワーク 会議 「総会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 6 年度事業報告</li> <li>・平成 2 7 年度事業計画</li> <li>・構成機関における平成 2 7 年度産学連携事業</li> </ul>	4 0 名 ( 2 7 機関)
1 1 月 1 8 日	産学連携支援 ネットワーク 会議 「セミナー」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講演会：「産業技術総合研究所について（概要、企業との連携について）」 講師：花井 修次氏 「診断治療機器・セラノスティックデバイスとしての超音波の可能性」 講師：葭仲 潔氏</li> <li>●施設見学：産業技術総合研究所つくばセンター中央第 1（茨城県つくば市梅園 1-1-1） <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイエンススクエア</li> <li>・研究棟見学 超音波治療用モジュールトランスデューサーの開発</li> <li>超音波による再生軟骨弾性率測定装置の開発</li> </ul> </li> </ul>	2 7 名

### ③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

大学・研究機関の技術シーズの展示紹介や企業とのマッチングを行う産学連携フェアを開催するとともに、メールマガジンによる情報発信を行った。

内 容	実 績
産学連携フェア<ビジネスアリーナ2016会場内で開催> 開催日 : 1月27日～28日 開催場所: さいたまスーパーアリーナ 出展機関: 大学13、研究機関2、支援機関2 大学・研究機関によるシーズ発表会 大学7 研究機関等3	来訪者数 2,784名 相談件数 1,006件
産学連携支援メールマガジン	参加者数 180名 配信回数 15回

### ④ 戦略的基盤技術高度化支援事業<公社管理法人分>

経済産業省関東経済産業局の競争的研究資金を得て、県内製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削加工、めっき等）の高度化に資する研究開発から試作段階までの取組を促進した。

#### ア 新規バイオ医薬（医薬候補ペプチド）探索・発見技術の高度化

研究実施者	株式会社ライフテック、ジェナシス株式会社、埼玉大学、長浜バイオ大学
平成27年度受託額	11,491千円
受託期間	平成25年度～27年度の3年間

#### イ 有機ケイ素化合物（シリコン）分野で世界初の製造過程で排出される廃棄物の有効利用

研究実施者	高圧システム株式会社、株式会社カレイド、バイオコーク技研株式会社、富士化学株式会社
平成27年度受託額	11,230千円
受託期間	平成25年度～27年度の3年間

#### ウ 自動車マウント部品の樹脂化技術開発

研究実施者	PLAMO株式会社、有限会社三友金型工業所、群馬県立群馬産業技術センター
平成27年度受託額	11,006千円
受託期間	平成25年度～27年度の3年間

#### エ 新型成人用HF0人工呼吸器の開発及びARDS患者向けHF0呼吸管理プロトコルの開発

研究実施者	株式会社メトラン、国立成育医療研究センター、岡山大学、高知大学、エンジニアリングシステム株式会社
平成27年度受託額	69,964千円
受託期間	平成25年度～27年度の3年間

#### オ 低消費電力半導体の貫通電極ウエハボイドレス超高速めっき装置技術の開発

研究実施者	株式会社東設、大阪府立大学、奥野製薬工業株式会社、東北マイクロテック株式会社
-------	--



平成27年度補助額	29,945千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

カ 複合乳酸菌発酵法を利用した大豆を原料とする抗ストレス食品素材の開発

研究実施者	株式会社光英科学研究所、お茶の水女子大学
平成27年度補助額	29,946千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

キ 医療現場改善と疾患早期発見に繋がるディスプレイ型内視鏡光学系の開発

研究実施者	株式会社渋谷光学、株式会社長津製作所、株式会社先端力学シミュレーション、国立研究開発法人理化学研究所
平成27年度補助額	19,857千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

ク 医療・光学用金型の鏡面仕上げ技術の実用化開発

研究実施者	池上金型工業株式会社、東洋工学株式会社、国立研究開発法人理化学研究所
平成27年度補助額	25,066千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

ケ ゲル状めっきシステムの開発

研究実施者	吉野電化工業株式会社、早稲田大学、東京理科大学、埼玉県産業技術総合センター
平成27年度補助額	29,836千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

### (3) 知的財産支援

中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進して「知的財産立県づくり」を進めるために「知的財産総合支援センター埼玉」を運営し、知的財産に係る相談業務をワンストップで行った。

#### ① 知的財産の相談支援

知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを知的財産アドバイザー（7人）、特許活用コーディネーター（1人：兼務）として配置し、相談に対応するとともに、知財普及員を2名配置し、案件の掘り起こしを行った。併せて、専門性の高い相談に対しては、弁理士・弁護士による専門相談を実施した。

また、知的財産アドバイザーによる出張相談会を県内7会場において実施したほか、特許活用コーディネーター（1人）による技術ニーズに対する知財マッチングを行った。

内 容	実 績
相 談 件 数	2,570件<国からの受託事業1,572件を含む> (うち専門相談 59件) (うち出張相談会 60件) (うち知財普及員による訪問 53件)
出張相談会開催回数	28回 (川口、朝霞、川越、所沢、東松山、熊谷、春日部で各4回)

内 容	実 績
技術ニーズに対する 知財マッチング件数	9 件

【相談内容（区分別）】

図 1：知的財産区分

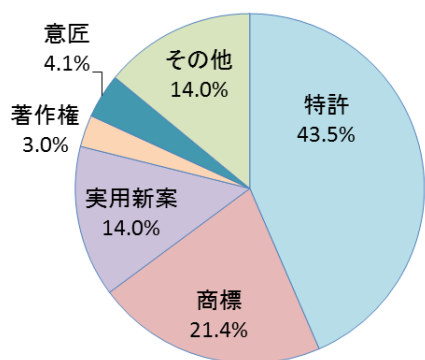
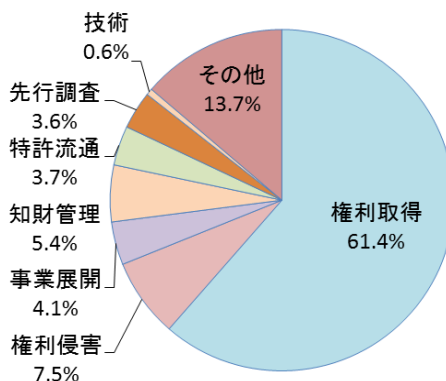


図 2：相談区分



② 知財経営促進・人材育成

ア 知財専門家の派遣

知的財産を企業経営の中で戦略的に活用するため、弁理士等を派遣して、中小企業の知的財産に関する具体的な課題の解決を支援し、有望な知的財産の創造や効果的な保護・活用を促進するとともに、中小企業の知財活用体制強化の支援を行った。

支援企業数	支援回数
4 社	9 回

イ 外国出願支援事業

優れた特許等を有し、かつ、海外において戦略的に活用しようとする県内中小企業に対し、弁理士と連携を図り、外国特許庁への出願支援を行った。

国別の出願状況は、米国 9 件、中国 7 件、欧州 6 件、韓国 3 件、インド 3 件である。

支援対象企業	内 訳
11 社（特許 10 社、 商標 1 社）	国補助 7 社（特許 6 社、商標 1 社） 県補助＜医療・福祉機器関連＞ 4 社（特許 4 社）

ウ 企業内知財人材養成講座

中小企業において、知財経営推進の核となる知財人材を養成するため、訪問支援による講座を実施した。

具体的には、知財の基本事項、特許情報プラットフォーム（J-P l a t P a t）の活用方法、知財戦略等を講座の内容とした。

支援企業数
5 社

エ 各種セミナー

知的財産に関する啓発や知識の向上を目的に、関係機関等と連携して海外知財制度セミナー、

知財経営セミナー、知財入門セミナー等を合計6回開催した。

開催日	内容	参加者数	共催
3月9日	【海外知財制度セミナー】 「海外におけるライセンスビジネスの留意点」	55人	独立行政法人日本貿易振興機構
10月1日	【海外知的財産活用講座】 「中堅・中小企業のための知的財産の保護・活用」	28人	独立行政法人工業所有権情報・研修館
12月4日	【知財経営セミナー】 「営業秘密の管理」	34人	広域関東圏知的財産戦略本部 (関東経済産業局)、特許庁、 埼玉県
2月29日	「中小企業経営に活かせる知的財産活動」	25人	
9月11日	【知財入門セミナー・地域】 知的財産セミナー 「そこが知りたい知的財産(活用編)」<さいたま会場>	20人	日本弁理士会関東支部
12月11日	「企業における知的財産の有効活用と知的財産活動について」<所沢会場>	18人	日本弁理士会関東支部、 所沢商工会議所

### ③ その他

#### ア 知財総合支援窓口設置事業

関東経済産業局からの委託を受け、知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを窓口支援担当者（知的財産アドバイザーを兼ねる：7人）として配置し、知財に関する総合相談に対応した。

#### 【再掲】

内容	実績
相談件数	1,572件

### (4) 次世代自動車産業支援

県内自動車関連企業を対象に、自動車の電動化・軽量化等に伴う技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路開拓を促進するため、「次世代自動車支援センター埼玉」を運営し、技術革新が進む自動車関連分野への転換、参入ができるよう総合的な支援を実施した。

#### ① 自動車に関する相談の実施

「次世代自動車支援センター埼玉」にアドバイザーを配置し、県内自動車関連企業からの自動車技術に係る相談にワンストップで応じるとともに、新技術・新製品開発の「きっかけづくり」から研究開発を促進するための公的競争的資金獲得支援まで総合的な支援を実施した。

内容	実績
自動車技術に関する相談件数	856件
技術開発テーマ取組支援数	20件

## ② 研究開発力強化の支援

### ア 新製品・新技術研究会

県内自動車関連企業が、次世代の自動車産業に転換・参入できる技術を確立できるよう、モータやパワーエレクトロニクス、軽量化技術を研究する場である研究会を実施した。

#### (ア) モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会（参加企業20社）

開催日	テーマ	参加者数
4月22日	電動化と物づくり／燃料電池車の基礎	22人
7月8日	パワーモジュール実装技術／電動車用モータ技術紹介と開発動向	20人
10月9日	燃料電池車に搭載されるデバイスの動向／水素社会に向けたJXの取り組み	15人
1月20日	自動車用ワイヤレス給電の現状／ワイヤレス給電用コイルの課題	17人

#### (イ) 軽量化研究会（参加企業24社）

開催日	テーマ	参加者数
6月3日	自動車のマルチマテリアル化の動向／鋳造用アルミ材料と鍛造技術の動向	22人
10月27日	高張力鋼（ハイテン）材の技術動向／新日鐵住金（株）君津事業所視察	42人
12月11日	発泡成形の基礎原理と成形技術の動向／発泡成形用樹脂材料の開発	19人
2月4日	耐熱マグネシウムウム合金を用いた自動車部品の製造／ホンダにおけるマグネシウムの適用事例と最近の取組み	37人

### イ 車両分解研究会

参加企業が連携して最新車両の部品を分解調査解析し、最新技術や技術動向を理解することで今後の技術開発戦略や新たなビジネス展開を探るための研究開発を支援した。

参加企業数：26社

研究対象車両：ホンダ／レジェンド

開催日	内容	参加者数
11月5日	発足会／車両分解見学①	44人
6日	車両分解見学会②	①②延べ94人
11月26日	車両技術説明・分解部品展示確認会	34人
3月16日	最終報告会	28人

### ウ 技術講演会

自動車関連産業の最新技術動向や新しいビジネス分野の情報提供として講演会等を実施した。

開催日	内 容	参加者数
6月26日	第1回次世代自動車技術講演会 「燃料電池自動車の現状と展望」	36人
11月19日	次世代自動車技術視察会 「トヨタMIRAI試乗会」	13人
1月27日	第2回次世代自動車技術講演会（ビジネスアリーナ2016）「マツダ モノ造り革新」	313人
2月26日	自動車産業革新技術セミナーin さいたま（日本自動車部品工業会と共催）	61人

### ③ 製造現場力強化の支援

県内自動車関連企業による現場力強化研究会を設置し、参加企業が生産性向上や不良削減などの自社目標達成に向けた現場改善活動を支援した。

参加企業：8社

開催日	内 容	参加者数
7月3日	展開説明会	18人
9月18日	展開計画発表会	20人
12月4日	中間報告会	19人
2月19日	最終報告会	26人

### ④ 販路拡大の支援

大手自動車メーカー及びTier1メーカー等との技術展示会を実施した。

ア 国内における販路開拓支援

(ア) カルソニックカンセイ技術展示会

Tier1メーカーに対し、県内企業が新技術・工法等を提案する技術展示会を実施した。

内 容	実 績
開催日 7月15日 開催場所 カルソニックカンセイ生産技術センター (吉見町) 参加企業 展示20社/プレゼン5社	商談件数 205件

(イ) 日産自動車技術展示会

大手自動車メーカーに対し、県内企業が新技術・新工法等を提案する技術展示会を実施した。

内 容	実 績
開催日 9月9日 開催場所 日産自動車テクニカルセンター（神奈川県） 参加企業 展示50社/プレゼン5社	商談件数 753件

(ウ) 彩の国ビジネスアリーナ

会場内に「次世代自動車ゾーン」を設け、自動車メーカー及びTier1メーカーと県内自動車関連企業の新たな取引を促進した。また、県内企業の新製品・試作品等を展示した。

内 容	実 績
開催日 1月27日、28日 開催場所 さいたまスーパーアリーナ 招待企業 Tier1メーカー他 6社 製品展示 6社	商談件数 22件

(エ) 本田技術研究所汎用R&Dセンター技術展示会

大手汎用製品メーカーに対し、県内企業が新技術・工法等を提案する技術展示会を実施した。

内 容	実 績
開催日 2月9日 開催場所 本田技術研究所汎用R&Dセンター（朝霞市） 参加企業 展示11社	商談件数 144件

イ 海外における販路開拓支援

(ア) 中国自動車メーカー商談会

中国のローカル自動車メーカーに対し、県内企業が新技術・新工法等を提案する技術展示会を実施した。

内 容	実 績
開催日 12月15日～18日 開催場所 吉利汽車（杭州） 参加企業 6社	商談件数 73件

## 5 人材育成・情報支援

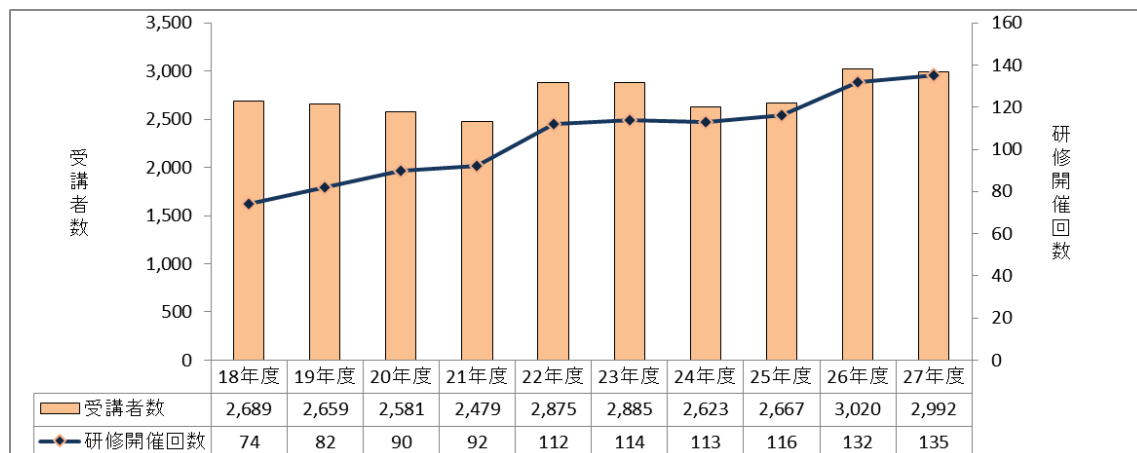
### (1) 人材育成

#### ① 研修

経営環境の変化に対応できる人材の育成を目的に、総合的かつ体系的に新入社員から経営者までの各層に合わせた総合力強化研修や生産性向上研修など、135回実施した。

また、申込者数が定員を大幅に超えた新入社員教育（生産）研修などについては同テーマの研修を追加した。平成27年度は新たに企業や受講者のニーズに合わせ、人気の高い5Sやリーダー育成をテーマとしたゼミナール形式で実践的に学ぶプレミアム研修を実施した。

研修受講者数と開催回数の推移



※オーダーメイド出前研修及び通信教育を除く

ア 総合力強化研修

(ア) 新入社員研修

新入社員を対象に、企業人としての自覚を促すとともに、仕事への取り組み方、職場の人間関係、自己啓発の進め方、企業人としての基本行動等について学ぶ研修を18回開催した。

(イ) 中堅社員研修

中堅社員を対象に、その果たすべき役割と責任を認識させるとともに、仕事の管理、問題解決、リーダーシップ等の能力向上について学ぶ研修を10回開催した。

(ウ) 管理者研修

新任管理監督者及び管理監督者を対象に、管理監督者として必要な知識、役割、リーダーシップのあり方等について具体例を通して習得する研修を3回開催した。

(エ) 経営者研修

新たな経営ビジョンや経営戦略策定に必要なマネジメント能力の向上とともに、経営者として自己革新が図れるよう、実践的な経営ノウハウを学ぶ研修を1回開催した。

イ 生産力向上研修

生産現場における効率化や品質向上、安全作業などの基礎的なスキルを習得する研修を19回開催した。

ウ 実務スキル向上研修

業種業態にかかわらず実務のスキルアップに役立つ知識や技法を習得する研修を35回開催した。

エ 技能研修

県立高等技術専門校と連携し、旋盤操作や切削技術向上、設計図解読など、中小企業の製造現場で働く若手社員を対象にした技能研修を21回開催した。

オ 地域密着研修

5Sといった人気の高いテーマの研修を川越・熊谷・草加の3地域で12回開催した。

カ コンパクト研修

忙しい営業部門や管理職、経営者にも受講しやすいようにテーマを絞ってコンパクト(3時間)にまとめた営業実務に関する研修を14回開催した。

キ プレミアム研修

人気の高い5Sとリーダーシップ育成をテーマとしたゼミナール形式の実践的な研修を2回開催した。

ク 特別研修

(ア) オーダーメイド出前研修

個別企業のニーズに合わせた研修カリキュラムを設計し実施する出前研修を23回(31日間：延べ受講者630名)開催した。

(イ) 通信教育

社員の自己啓発及び業務遂行能力の向上を図る通信教育を(株)日本能率協会マネジメントセンターと提携実施し、48名が受講した。

平成27年度 研修実施実績

分 類		回数 (回)	総日数 (日)	受講者数 (人)	
通	総合力強化 研修	新入社員研修	18	32	659
		中堅社員研修	10	17	283
		管理者研修	3	7	74
		経営者研修	1	1	22
		(小 計)	32	57	1,038
常	生産力向上 研修	生産管理	5	11	160
		現場改善	8	15	212
		品質管理	5	10	129
		工場視察	1	1	31
		(小 計)	19	37	532
研	実務スキル 向上研修	I S O	19	40	387
		企業会計	2	4	41
		技法取得	12	14	302
		人事・労務	2	3	43
		(小 計)	35	61	773
修	技能研修		21	57	153
	地域密着研修		12	12	188
	コンパクト研修		14	14	288
	プレミアム研修		2	6	20
	通常研修 合計		135	244	2,992
特研 別修	出前研修		23	31	630
	通信教育		—	—	48
	特別研修 合計		23	31	678
合 計		158	275	3,670	

② 明日を担うものづくり人材育成事業

埼玉県教育局等と連携を図りながら、将来のものづくりを担う人材の育成を図った。

ア 第25回埼玉県産業教育フェア

埼玉県教育委員会、埼玉県産業文化センター等との共催により開催した。当日は、企業3社が体験コーナーに出展し、子供たちにもものづくりの楽しさを体験するイベントを実施した。

期 日：11月21日、22日

場 所：大宮ソニックシティ地下1階展示場、鐘塚公園、大宮駅西口イベントスペース

来場者数：約16,000名

イ 高校生ものづくりコンテスト

県内の工業高校生を対象に埼玉県工業教育研究会が実施する「ものづくりコンテスト」に協賛し、上位入賞者に理事長賞を授与した。

開催日	部 門	会 場
6月13日	旋盤作業	ものづくり大学 (行田市)
6月20日	電気工事	電気工事工業組合会館 (さいたま市)



開催日	部 門	会 場
7月12日	木材加工	日本工業大学（宮代町）
7月24日	電子回路	日本工業大学（宮代町）
8月5日	化学分析	県立久喜工業高等学校（久喜市）
8月7日	測量	県立いずみ高等学校（さいたま市）

## （２）情報支援・IT活用サポート

### ① 中小企業情報提供事業

中小企業が直面している様々な経営課題などに関する情報等を収集・分析・加工し、インターネットや情報誌、セミナー等で迅速に提供した。

#### ア 月刊情報誌の発行

公社事業を広く紹介するのをはじめ、県内の企業紹介や法律、税制、国際化など経営に役立つ情報を幅広く、タイムリーに提供した。

情報誌「アクセス埼玉」の発行 12回

（A4判20ページ 3,000部発行）

#### イ アクセス埼玉文庫の発行

「現場改善 ムダ取りの基本」シリーズ1～5巻を合計208冊頒布した。

#### ウ 企業経営座談会の開催

開催日	内 容
11月17日	テーマ：「次世代住宅産業」 出席者：(株)藤島建設 新エネルギー事業部 部長 依田 修 氏 リンテック(株) 研究所 新素材研究部長 沼澤 英樹 氏 (株)プラス暮らし科学研究所 住環境グループ長 松岡 大介 氏 埼玉大学大学院 理工学研究科 助教 福田 武司 氏 司 会：公社 先端産業コーディネータ 小笠原 均郎 月刊誌掲載：平成28年1月号

#### エ 賞与予測調査の実施

県内中小製造業を対象とした賞与予測調査を実施し、その結果を公表するとともに経営情報として提供した。

事 業 名	実 績	概 要
賞与予測調査の実施	2回	製造業 2,000社対象 有効回答率 夏季17.8% 冬季18.5%

#### オ 会員優待セミナーの開催

公社会員サービスの一環として、話題の最新情報や中小企業の経営課題にスポットを当てたセミナーを8回実施した。

開催日	テーマ	参加者数
5月27日	マイナンバー制度への企業対応①	62名
5月27日	マイナンバー制度への企業対応②	53名
6月29日	特許情報を新規事業開発に活かすためのセミナー	19名
7月22日	レジリエンスセミナー	34名
10月8日	マイナンバーまとめ（経理）対策セミナー①	51名
10月8日	マイナンバーまとめ（経理）対策セミナー②	49名
10月27日	ストレスチェック制度対策セミナー①	48名
10月27日	ストレスチェック制度対策セミナー②	31名

#### カ 公社会員等交流事業

公社会員企業相互の交流と企業間ネットワークづくりを促進するため、経営者、後継者、経営幹部が一堂に会する講演会及び情報交換会を実施した。

開催日	事業名	内容	参加者数
2月23日	公社会員感謝の集い	テーマ：『最幸のチームを創るリーダーシップ』 講師：(有)香取感動マネジメント 代表取締役 香取貴信 氏	102名

#### 公社会員数の推移

(単位：社)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
公社会員数	1,270	1,317	1,307	1,316	1,356

(平成27年度における入退会の状況)

新規入会	退会	会員数増
105	65	40

#### キ DVD・ビデオソフトの貸出

経営や技術、人材教育などに関するDVD・ビデオソフト等を整備し、企業への貸出サービスを行った。

事業名	貸出実績	新規購入状況
DVD・ビデオソフト貸出	216社 延べ718本	21本 製造社員やっということ、コンプライアンス、管理者マネジメント、ビジネスマナー、仕事の基本、製造社員の報告・連絡・相談など

#### ② IT活用サポート事業

中小企業の情報化を促進するため、ITコンサルティングやホームページ作成支援、IT関連セミナー、ビジネスソフト研修を実施した。

ア ITコンサルティング事業

県内中小企業をIT専門家とともに訪問し、企業ホームページのアクセス数向上やSEO対策等のテーマでコンサルティングを実施した。

実施数	19社 (延べ47回)
-----	-------------

イ ITセミナー

(ア) 地域連携ITセミナー事業

開催日	テーマ	参加者数	共催
6月10日	マイナンバー実務セキュリティセミナー	72名	飯能信用金庫
6月30日	マイナンバー実務セキュリティセミナー	77名	(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク

(イ) Webマーケティングセミナー

自社の商品やサービスの紹介ページを磨き上げ、「儲かるサイトに必要な基礎力」「儲かるサイトづくりの秘訣」を学ぶ実践的なセミナーを実施した。

実施数	8回 (参加者15社 18名)
-----	-----------------

(ウ) ITによる営業・発信力向上講座

講座名	回数	受講者数
Photoshop 入門講座	3回	38人
Illustrator 入門講座	3回	41人
デジタルパンフレット (カタログ) 作成講座	2回	18人

ウ WEB販路開拓スタート支援事業

自社内でホームページの制作ができない企業にIT専門家を派遣し、ホームページ作成支援を行い、WEBによる販路開拓を推進した。

実施数	9社 (延べ19回)
-----	------------

エ ITスキルアップ研修

利用頻度の高いビジネスソフト (表計算・プレゼンテーション・データベース) やインターネットを有効活用するための講座を15テーマ19回開催した。

講座名	回数	受講者数
エクセル関連 (5テーマ)	9回	92名
パワーポイント	1回	5名
アクセス データベース	1回	14名
ホームページ作成関連 (5テーマ)	5回	31名
資格対策 (3テーマ)	3回	9名

オ バックリンク支援事業

公社ホームページにバックリンク専用サイトを構築し、中小企業のホームページのSEO対策を支援した。

リンク企業数 1,028社

### ③ 公社内IT管理事業

#### ア 公社内IT管理

大宮事務所と北与野事務所間のネットワーク、公社共通企業データベース及びグループウェア（サイボウズ）の管理・運用により、公社内の情報共有を推進した。

また、情報システムの運用管理に関する規程を定め、資産管理ソフトの導入により、情報セキュリティの強化を図った。

#### イ インターネット情報提供

公社実施事業をより積極的にPRするとともに企業経営に役立つ情報の提供に努めた。

公社ホームページ	アクセス数1,791,753件/年
公社メールニュース	配信回数24回（毎月2回） 登録者数2,731名

## 6 その他

### (1) 投資育成事業

平成16年度に統合した（財）埼玉県創造的企業投資育成財団（S A F I C）の事業を引き継いで実施しており、地域中核企業投資育成事業の投資先企業2社、ベンチャー企業投資育成事業の投資先企業1社に対して経営支援を行った。

#### ア 投資先企業等への支援

事業名	実績	概要
フォローアップ事業	33回	地域中核企業18回、ベンチャー企業15回 個別訪問等によるフォローアップを実施

#### イ 投資概要

（平成27年度末現在）

事業名	企業数	投資残高
地域中核企業投資育成事業	2社	直接投資 2社 31,100千円

直接投資：S A F I Cが投資の可否を決定し、当該企業の社債を直接引き受け、又はS A F I Cが当該企業の第三者割当増資を引き受ける形式（株式投資）により投資したもの

### (2) その他

#### ① 職員の能力開発

公社職員の専門能力の向上を図るため、各種専門研修や公社実施の研修講座への参加を促した。

#### ② 貸与事後処理

設備貸与事業の償却債権について、債務者又は連帯保証人に対して電話又は訪問による継続的な督促を行って回収に努めた。